

播磨地域や神戸市西部の少年ラグビー教室でつくる「ウェストジュニアリーグ」(WJL)の東西交流戦が18日、太子町佐用岡の同町立総合公園陸上競技場であった。小学4～6年の男女約150人が参

加。他のスクール同士による混成チームで試合が行われ、子どもたちはコミュニケーションの大切さを学びながら懸命に楕円球を追っていた。

(金 旻革)

播磨や神戸の少年ラグビー教室 太子で東西交流戦

WJLは同町や姫路、加古川市などでラグビー指導に取り組む7スクールが2005年度に設立。リーグ戦を定期的に開催するほか、スクール同士の交流を図るために混成チームをつくり東西交流戦を行っている。

4年生は7人制、5、6年生は9人制で試合を展開。コートは成年より狭くプレー時間も短いですが、同じルールで実施された。慣れないメンバーでチームを組み最初はぎこちなかったが、子どもたちは徐々に打ち解けて積極的に声を掛け合った。パスをつなぎ、トライを取っては喜びを分かち合った。

太子町立斑鳩小学校5年の中屋虎太郎君(11)は「他のクラブのメンバーが低い姿勢でしっかりタックルしていた。自分も意識してタックルし何人も倒せた」と満足げ。姫路市立高岡小5



はつらつとプレーする少年ラグーマンたち＝太子町佐用岡

豊かな自然を楽しみ快走

校の応援団が演舞と太鼓で選手を

児童150人 意思疎通学ぶ

「連携がうまくいきトライできた」と笑顔だった。

WJL会長で高砂ラグビースクールの陰山国弘校長(63)は「播磨は阪神間と比べて競技人口が少ない。来年は日本でラグビーワールドカップが開かれるので、チームワークの大切さや礼儀を学べるラグビーの魅力を多くの人に知ってもらいたい」と話していた。

として参加。ゴール付近では、選手に「お帰りなさい」「ラスト」などと声を掛けて大会を盛り上げた。

混成チームでトライ!!

俳句

◇城下町句会

種々を組上に刻む七日かな
句会てふ心の絆去年今年
芥を手にし声をかけ合ふ寒の朝
静けさをつき動かして除夜の鐘
◇リバーシティ俳句教室
風花や優美さ増しぬ白鷺城
大家族揃ふめでたさ今朝の春
未練捨て部屋の断捨離年用意

松岡 洋巨 選

松久 昌司
山本 禎次
土居 正樹
甲斐 昭子
水田むつみ 選
英賀美千代
高島規容子
田中 敏弘

病室より見上げる山の稜線は強くあれよと言ふかの
山行きを止めるわが言聴きもせず夫が八十路のチエ
ンソー響く
散りちりて散りゆく落葉のリズムして衣笠荒神の参
道登る
病院の窓にさしくる日を受けて卒寿の吾になお夢が
ある
衣笠 邦恵
尾崎 和代
谷風に吹きあふられし冬紅葉
家苞に飛驒の漬物赤蕉
◇杉・北斗句会
かけ合ひに掲ぐ杵高し祝餅
華やきの縁に酔ふや冬うらら
今あるを謝して菊花と正信偈
朝霧に浮かぶ大橋須磨の浦
◇杉・月曜句会
点灯式の寒気はらみぬルミナリエ
金継といふ技のあり冬銀河
冬空に凜と姿の辰鼓楼
丹波焼炎のなせる柿の色
◇杉・ふるさと句会
ポケットに小銭の音や花枝
ポインセチア華ぎあたるひとりの間
お陰さまに母息災の冬至粥
虎落笛きこえてゐたる真夜なりし
◇山脈句会
わだかまる心失せけり大根煮る

小坂 文之 選

神吉 成子
牛尾 かよ
矢野 州子
早原 敏美
船越 克登
嶋崎 深雪
正木 豊子
梅田 京子
京屋 伊助

小坂 文之 選

西村佐知子
東 さかえ
小田つたゑ
高部 瑛子
野村 佳子
野村 佳子
高部 瑛子
高部 瑛子
高部 瑛子
高部 瑛子

◇一日新宮句会

古稀なりに抱負のありぬ初日記
そつくりの母の顔あり初鏡
柚子風呂や一年の悲喜数へをり
淑氣溝つ山は父なり川は母
◇土曜句会
枯れ菊や僅かな紅の愛らしさ
水仙花薄日静かに香を零す
色も香も花蛸梅の庭明り
書き初めを書ける喜び筆踊る

姫路・西播

文